

## 21世紀型サーバーの幕開け iSeriesで思いのままのe-ビジネス

ビジネス・サーバーとして培ってきた信頼性やテクノロジーを基盤に、IBM eServer iSeriesは従来にない大きな変化を遂げました。

IBMがe-ビジネスを提唱してから約3年。インターネットは社会的なインフラに成長し、いまや多くの企業でe-ビジネスの重要度がますます高まっています。一方、顧客満足度の向上や業務プロセスの効率化など企業独自の目標を達成するために、e-ビジネス・サーバーへのニーズも多様化/高度化しており、e-コマース、SCM、CRM、ERPなどのソリューションを幅広くサポートし、さらに容易に運用できることが求められています。

そしてこの度、iSeriesは、さらに大きく前進しました。

お客様それぞれの経営課題を解決するため「さまざまな用途に柔軟に対応でき」「TCOに優れ」「インフラとして高い信頼性と拡張性を発揮する」ことを目指し、OS/400(R) V5R1では、これまでの歴史上で一番大きな機能拡張を実現しています。

例えば、最新のパーティショニング技術を実用化した今回のLPAR(ロジカル・パーティショニング)の機能拡張では、プロセッサの区画間共有や動的な資源移動が可能になり、サーバー統合の柔軟性が増しました。また、Linuxのサポート、XML対応のネイティブ化などにより、オープンで多様なアプリケーションを即座に活用でき、パーベインプの世界もますます広がります。システム管理機能のGUIも強化し、定評のある使いやすさにもさらなる磨きをかけました。

IBM「構想」に基づくiSeriesの目指す先は、究極のe-ビジネス・インフラの提供です。iSeriesは、今後ともお客様のシステム資産を大切にしながら、最先端テクノロジーをいち早く採用し、新世紀に飛躍するe-ビジネス・サーバーとして進化を続けていきます。

### OS/400 V5R1の発表

LPARの発展

Linuxのサポート

オペレーション・ナビゲーターのGUI強化

パーベインプ・コンピューティングへの対応

### ハードウェア・テクノロジーの進化

パフォーマンスの向上

クラスタリングによる信頼性の向上

外付けのIBM eServer xSeriesによるWindows(R) 2000サポート

平成13年4月24日発行

発行元: 日本アイ・ビー・エム株式会社 ミッド・マーケット・サーバー製品事業部

この資料は日本アイ・ビー・エム株式会社 ミッド・マーケット・サーバー製品事業部が発行する“NEWS/4 YOU”(ニュース・フォー・ユー)をもとに作成しました。

## 21世紀型サーバーの幕開け。iSeriesで思いのままのe-ビジネス。

### OS/400 V5R1の発表

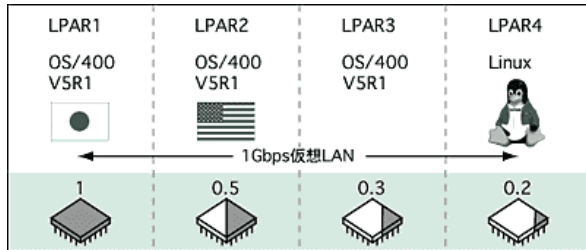
e-ビジネス・インフラとしてさらに使いやすく、多彩な用途に柔軟に対応できるようになりました。

#### フレキシビリティの向上

##### LPARの発展

1つのプロセッサを複数のパーティション(最大4区画)で共有できるようになり、1-Wayプロセッサ・モデルでもLPAR環境を実現できるようになりました。最大パーティション数も24から32に拡張。1台で基幹業務、Webアプリケーション、グループウェアなどを稼働させたり、テスト環境と本番環境を混在させることができ、サーバー統合によるTCOの削減に貢献します。

#### <2-Wayプロセッサの一例>



←システムを停止することなくリソース(プロセッサ、メモリーなど)の割り当て変更が可能→  
(注: LPAR環境をサポートするモデルについては、制限・考慮事項があります。)

また、動的資源移動のサポートにより、システムを停止することなく、パーティション間でプロセッサやメモリー、対話型パフォーマンスなどの割り当てをダイナミックに変えることが可能になりました。これらの資源移動はスケジューリングしたり、あらかじめ設定した条件を満たした時に自動的に行うこともでき、資源を有効に利用しながらアプリケーションの負荷増大に柔軟に対応することが可能です。

パーティション間は、1Gbpsイーサネットをエミュレートする仮想LANにより接続され、高速なTCP/IPデータ転送が実現します。パーティション間の接続もGUIにより容易に設定できます。

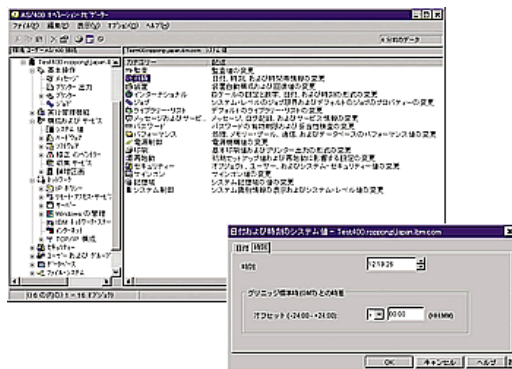
##### Linuxのサポート

インターネット用のサーバーOSとして急速にシェアを伸ばしているLinux。iSeriesでは、LPARのパーティション(2次パーティション以降)にLinuxを割り当てることが可能です。これにより、iSeries 1台でLinuxアプリケーションと基幹業務を連携して利用することができ、例えば、Linuxのパーティションでファイアウォールを稼働させるなどの使い方が可能になります。また、今後登場するLinuxのビジネスソリューションをいち早くiSeriesに取り込むことができ、iSeriesのソリューションの幅が大きく広がります。

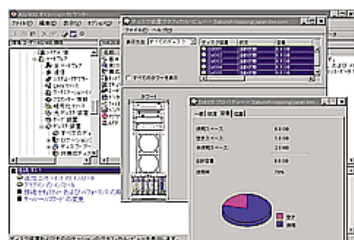
#### さらに使いやすく

##### オペレーション・ナビゲーターのGUI強化

ユーザー管理やリソース管理を行う「オペレーション・ナビゲーター」の操作画面がさらに使いやすくなりました。システム操作の約90%をGUIの画面から実行できるようになり、システム管理の容易性を高めています。また、コマンド入力もGUI画面から行え、パラメーターの指定も選択式で簡単です。



##### LPAR構成やシステム値も一元管理



マウスのクリックでディスクの位置を表示/管理



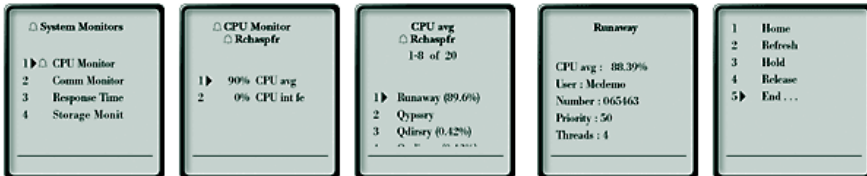
DBナビゲーターでテーブル、ビュー、インデックスなどの関係を表示

### パーベイスブ・コンピューティングへの対応

e-ビジネスの世界では、クライアントとなるのはPCだけではなく、PDAや携帯電話などさまざまな機器に広がっています。iSeriesは、このようなパーベイスブ(普及する)・コンピューティングをサポートすべく、XMLのネイティブ対応によりアプリケーションの操作画面をさまざまな機器に簡単に表示できるようにするなど、柔軟な使い方を可能にしています。

システム管理機能(マネージメント・セントラル)においてもパーベイスブ対応が強化されています。例えば、CPU使用率が設定した数値を超えるなどの問題が外出中に起きた場合、携帯電話から状況をチェックし、さらに問題の判別を行って原因となっているジョブを止めるなどの操作も行えるようになります。現場にいなくてもシステムの状況を把握し、問題を解決することができるわけです。

〈マネージメント・セントラル・パーベイスブによる携帯電話のシステム操作画面例〉



1. CPU使用率のモニターを開始
2. CPU使用率が平均90%に達しているのを発見
3. ジョブごとのCPU使用状況をチェック
4. CPUをほとんど占有しているジョブの内容を確認
5. 問題の原因となったジョブを終了させる

### その他の機能拡張

ドミノのノーツサポート

PASE(AIX®実行環境)の64ビット・アプリケーション対応

新しい開発ツール・パッケージ

「WebSphere® Development Studio for iSeries」

新しいWebブラウザ

「iSeries Access for Web」(クライアント・アクセスで提供)

HTTPサーバーの拡張: Apacheのサポート

DB2 UDB for iSeries: 新しいGUIベースのデータベース・ナビゲーター

最新のJava™サポートおよびパフォーマンスの向上

プリント・サポート:

IPP(インターネット・プリント・プロトコル)のサポート

オペレーション・コンソールのLAN接続

TCP/IP QoS(サービス品質: Quality of Services)のサポート

## 21世紀型サーバーの幕開け。iSeriesで思いのままのe-ビジネス。

## ハードウェア・テクノロジーの進化

インフラとしての強さを支える、ハードウェア性能がさらにアップしました。

## パフォーマンスの向上

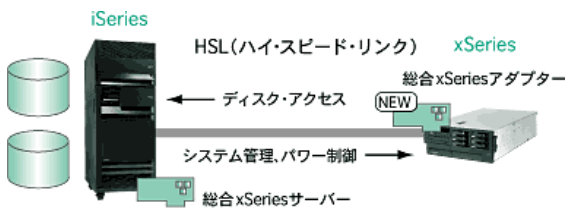
iSeriesが先取りした先進のSOI(シリコン・オン・インシュレーター)技術と銅配線技術を引き続き採用し、さらに処理性能をアップさせた新プロセッサの搭載(モデル270、820、840)により、最上位モデルで最大約20%のパフォーマンス向上を実現。メモリー容量も大幅に拡張されました。ドミノの稼働に特化したドミノ専用サーバーも新プロセッサ搭載でラインアップが一新されています。

## クラスタリングによる信頼性の向上

システム装置と入出カタワーとの間だけでなく、システム装置間でHSL(ハイ・スピード・リンク)接続が可能になりました。また、システム間でディスクを切り替えられるスイッチ可能ディスクもサポート。TCOに優れた信頼性の高いクラスタリングが実現できます。

## 外付けのIBM eServer xSeriesによるWindows 2000サポート

xSeriesをHSL接続することで、拡張性、信頼性、パフォーマンスに優れたWindows 2000サーバーの構築が可能となります。4-WayまでのxSeriesを接続できるため、より大規模なWindowsサーバーが実現可能です。さらにシステム管理や電源制御は、iSeries側から一元的に行うことができます。



## iSeries 400 モデル270/820/830/840(2001年4月24日現在)

型式		270			
プロセッサ機構		#2248	#2431NEW!	#2432NEW!	#2434NEW!
プロセッサ・タイプ		1-Way			2-Way
相対性能比 (CPW) <sup>※1</sup>	プロセッサ・CPW <sup>※2</sup>	150	465	1,070	2,350
	対話型CPW <sup>※3</sup>	最小	25	30	0 <sup>※4※6</sup>
最大				50 <sup>※5</sup>	70 <sup>※5</sup>
主記憶域容量 (MB)		256-4,096	256-8,192		256-16,384
磁気ディスク容量 (GB)		8.58-421.1			
通信回線数(最大)		50			
LANポート数(最大)		8			
平衡型ワークステーション制御機構数(最大)		6			
平衡型ワークステーション台数(最大)		240			
CD-ROM装置/内蔵磁気テープ機構数(最大)		2			
外付テープ装置数(最大)		3			
光ライブラリー・データ・サーバー数(最大)		4			
大きさ(cm)	システム装置本体	幅24.6×奥行72.8×高さ61			
	システム装置拡張機構付	幅43.2×奥行73×高さ61			
電源(V)		100Vまたは200V			
省エネルギー法による表示	区分	J			
	エネルギー消費効率 <sup>※7</sup>	0.21			

型式		820							
プロセッサ機構		#2395	#2435 NEW!	#2436 NEW!	#2437 NEW!	#2438 NEW!	#0150 NEW!	#0151 NEW!	#0152 NEW!
プロセッサ・タイプ		1-Way			2-Way	4-Way	1-Way	2-Way	4-Way
相対性能比	プロセッサ・CPW <sup>※2</sup>	370	600	1,100	2,350	3,700	1,100	2,350	3,700

型式		820					
(CPW)※1	対話型CPW※3	最小	35				0※6
		最大	240	560	1,050	2,000	
主記憶域容量 (MB)		256-4,096	256-8,192	256-16,384	256-32,768		256-16,384 256-32,768
磁気ディスク容量 (GB)		8.58-4,159					
通信回線数 (最大)		160					
LANポート数 (最大)		30					
平衡型ワークステーション制御機構数 (最大)		62					
平衡型ワークステーション台数 (最大)		2,480					
CD-ROM装置 / 内蔵磁気テープ機構数 (最大)		12					
外付テープ装置数 (最大)		8					
光ライブラリー・データ・サーバー数 (最大)		14					
大きさ (cm)	システム装置本体	幅48.3 × 奥行72.8 × 高さ61					
電源 (V)		100Vまたは200V					
省エネルギー法による表示	区分	J					
	エネルギー消費効率※7	0.29					

型式		830			
プロセッサ機構		#2400	#2402	#2403	
プロセッサ・タイプ		2-Way	4-Way	8-Way	
相対性能比(CPW)※1	プロセッサCPW※2	最小	1,850	4,200	7,350
		最大			
	対話型CPW※3	最小	70		
		最大	1,050	2,000	4,550
主記憶域容量 (MB)		1,024-65,536			
磁気ディスク容量 (GB)		8.58-11,056			
通信回線数 (最大)		300			
LANポート数 (最大)		72			
平衡型ワークステーション制御機構数 (最大)		152			
平衡型ワークステーション台数 (最大)		6,080			
CD-ROM装置 / 内蔵磁気テープ機構数 (最大)		18			
外付テープ装置数 (最大)		10			
光ライブラリー・データ・サーバー数 (最大)		22			
大きさ (cm)	システム装置本体	幅48.3 × 奥行108 × 高さ127			
電源 (V)		200V			
省エネルギー法による表示	区分	C			
	エネルギー消費効率※7	0.41			

型式		840				
プロセッサ機構		#2418	#2420	#2461 NEW!	#2416	#2352 NEW!
プロセッサ・タイプ		12-Way	24-Way		8~12-Way	
相対性能比(CPW)※1	プロセッサCPW※2	最小	10,000	16,500	20,200	7,800 9,000
		最大			10,000 12,000	
	対話型CPW※3	最小	120			

型式		840				
		最大	10,000	16,500	20,200	10,000
主記憶域容量 (MB)		4,096-98,304		4,096-131,072	4,096-98,304	4,096-131,072
磁気ディスク容量 (GB)		8.58-18,953				
通信回線数 (最大)		400				
LANポート数 (最大)		96				
平衡型ワークステーション制御機構数 (最大)		175				
平衡型ワークステーション台数 (最大)		7,000				
CD-ROM装置/内蔵磁気テープ機構数 (最大)		24				
外付テープ装置数 (最大)		26				
光ライブラリー・データ・サーバー数 (最大)		26				
大きさ (cm)	システム装置本体	幅56.5 × 奥行132 × 高さ157.7				
	標準入出力タワー	幅48.3 × 奥行107.5 × 高さ91				
電源 (V)		200V				
省エネルギー法による表示	区分	C				
	エネルギー消費効率※7	0.41				

型式		840				
プロセッサ機構		#2417	#2353 NEW!	#2419	#2354 NEW!	
プロセッサ・タイプ		12~18-Way		18~24-Way		
相対性能比 (CPW)※1	プロセッサ-CPW※2	最小	10,000	12,000	13,200	16,500
		最大	13,200	16,500	20,200	
	対話型CPW※3	最小	120			
		最大	10,000	16,500		20,200
主記憶域容量 (MB)		4,096-98,304	4,096-131,072	4,096-98,304	4,096-131,072	
磁気ディスク容量 (GB)		8.58-18,953				
通信回線数 (最大)		400				
LANポート数 (最大)		96				
平衡型ワークステーション制御機構数 (最大)		175				
平衡型ワークステーション台数 (最大)		7,000				
CD-ROM装置/内蔵磁気テープ機構数 (最大)		24				
外付テープ装置数 (最大)		26				
光ライブラリー・データ・サーバー数 (最大)		26				
大きさ (cm)	システム装置本体	幅56.5 × 奥行132 × 高さ157.7				
	標準入出力タワー	幅48.3 × 奥行107.5 × 高さ91				
電源 (V)		200V				
省エネルギー法による表示	区分	C				
	エネルギー消費効率※7	0.41				

・モデル270/820/830/840はOS/400 V5R1を搭載します。

・OS/400使用料金は、システム装置価格に含まれます。

※1:相対性能比は商業・プロセッシング・ワークロード (CPW) で評価します。CPWは、商用アプリケーション、特にジャーナリングおよびコミットメント制御とともに相当量のデータベース処理を行うベンチマークです。CPW値は、すべての環境で実現されるとは限りません。

※2:各プロセッサ機構の持つ最大のCPW値です。以前のプロセッサ機構のクライアント/サーバー-CPWと相対性能比の比較に使用できます。プロセッサ-CPWは、CPWワークロードがメモリー容量や磁気ディスク数で制約されない状態で達成可能です。

※3: 5250対話型のワークロードで使用可能な最大のCPW値で、プロセッサ-CPWの一部です。対話型ジョブで使用されたCPWはその相当分だけ使用可能なプロセッサ-CPWを減少します。

※4: オプションの対話型カードを選択しない場合の対話型CPWです。

※5: オプションの対話型カードを選択した場合の最大の対話型CPWです。

※6: 対話型の 0 CPWはシステム管理の機能のみサポート可能です。

※7: 省エネルギー法で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネルギー法で定める複合理論性能で除したものです。

## 先進のソリューションをサポート

### mySAP.com

iSeries日本語版mySAP.comの出荷が2000年12月末より開始されました。世界の優良企業のビジネス・モデルをパッケージ化したSAP社製品は、日本においても最も広く受け入れられています。iSeriesが従来持っている優位性と、ERPにおける優れたパッケージとを、同時にお客様に提供できるようになりました。

### DB2 OLAP Server™

企業内にさまざまな形で分散する情報を的確に分析し速やかに意思決定に結びつける、それを実現するのがDB2 OLAP Server for AS/400(R) V7.1です。世界的に利用されているHyperion社のパワフルなEssbaseエンジンとDB2(R)テクノロジーを融合させることで、多彩なOLAP機能と圧倒的な柔軟性、拡張性を持った分析システムをiSeriesの上で実現します。

## ソフトウェア・アップデートでOS/400の最新機能をいち早くお手に

ソフトウェア・アップデートとは、システム・ソフトウェアのアップデート料金を定期支払いする契約形態です。追加料金なしで常に最新のOS/400バージョン/リリースを入手できるようになり、予算の確保もしやすくなります。OS/400は今後も機能拡張を続けていきます。お客様のiSeriesを最大限に活用するためにも、ぜひソフトウェア・アップデートをご利用ください。